

国産手術支援ロボットhinotori™ × 商用5Gによる遠隔ロボット手術支援

概要

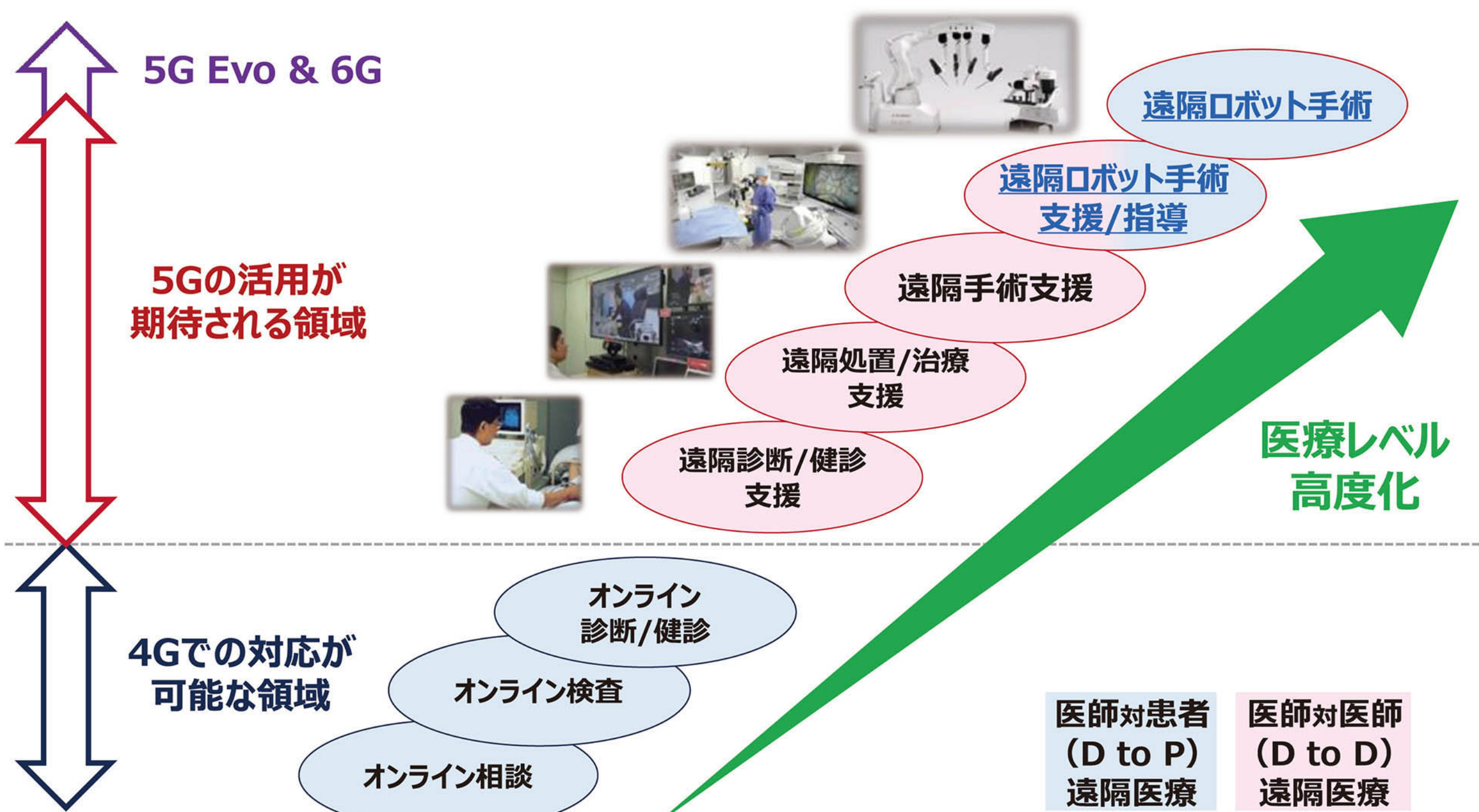
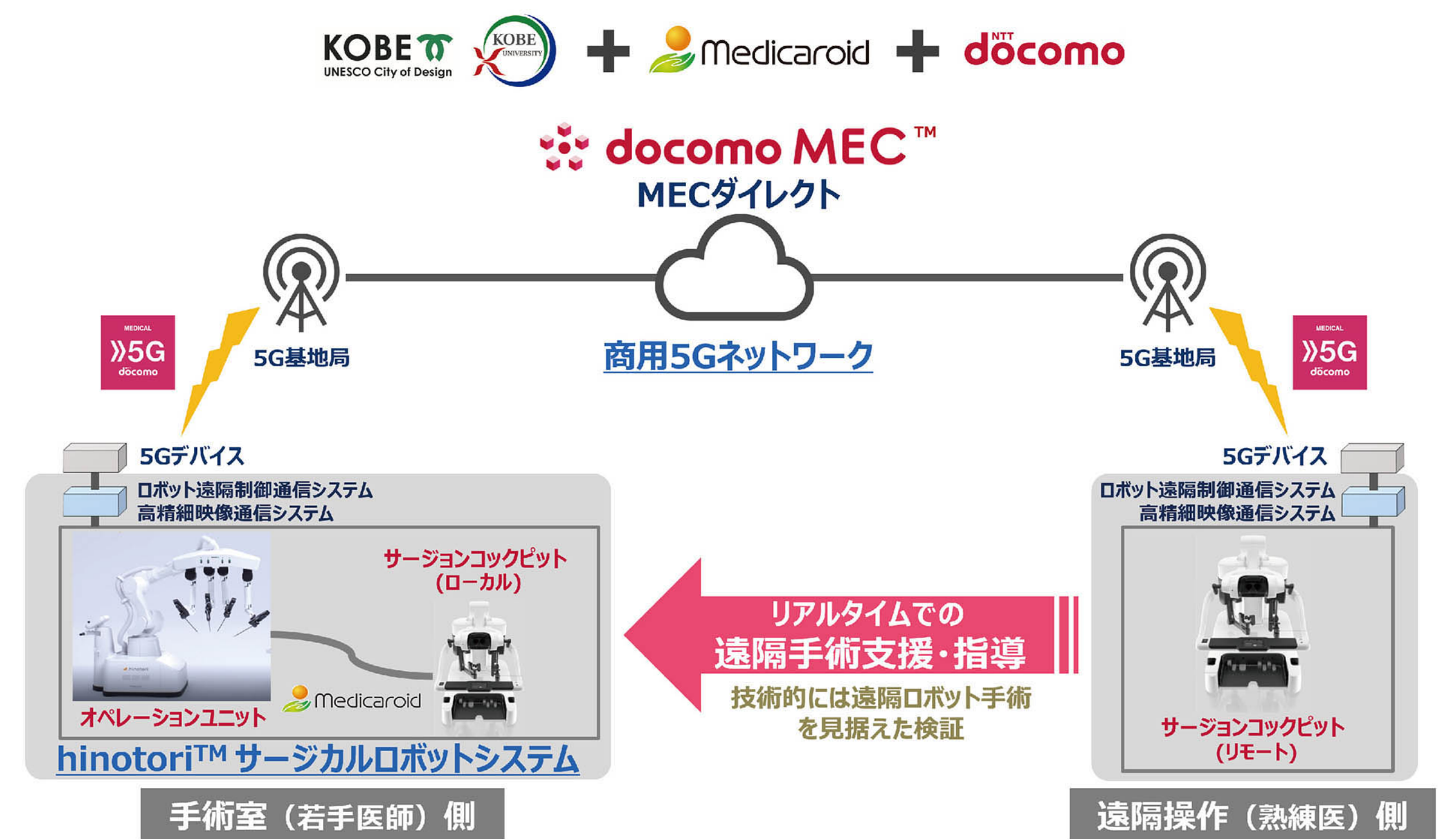
地域の医療格差のない社会の実現をめざして、国産の手術支援ロボット「hinotoriサージカルロボットシステム」とドコモの商用5G・クラウド基盤を組み合わせた高度遠隔医療ソリューションをご覧になれます。手術支援ロボットを遠隔地からリアルタイムに遠隔操作する、高度遠隔医療の最前線をご紹介します。

ビジョン

地方の若手医師のロボット手術に対して、熟練医が遠隔地から手術支援・指導を行うことで、日本の外科医療の均てん化や高齢・過疎化社会への対応、医師の働き方改革にも貢献します。将来的には、完全な遠隔ロボット手術の実現をめざしています。

今後のチャレンジ

5G Evolution & 6Gの高度化に伴う検証を通じて、End-to-Endでさらに低遅延・高信頼で安定した遠隔ロボット手術の実現をめざしつつ、関連省庁・学会と連携して法整備などを行い、早期社会実装に向けて進めていきます。



実現可能な未来

高度遠隔ロボット手術によって、どこにいても最先端の外科医療を受けられる。

若手医師への教育の質が高くなり、短期間で優秀な外科医を養成できる。

5G Evolution & 6Gによるカバレッジ拡張により、船上や災害時の医療としても貢献する。

IOWNとのかかわり

APN技術によるEnd-to-Endの超低遅延化や、量子鍵技術による高セキュリティ化などにより、サービスレベルの向上が期待できます。

協創パートナー

国立大学法人 神戸大学 / 株式会社 メディカロイド / 神戸市エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

SDGs

